

看護研究	4年通年	2単位 60時間	教授 箕輪 千佳 他 助教以上
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	3411124

1. 授業のねらい・概要

学生は3年次履修科目の「研究理論」で学んだ基礎知識・理論をもとに、自己の研究疑問の解明をめざし、研究の進め方、論文のまとめ方、発表の仕方について理解できるようになることを目的とする。

2. 到達目標

1. 研究疑問による先行研究の分析を十分に行い、研究目的を明確化できる。(D-5)
2. 研究目的にあった研究方法を選択し、具体的かつ実行可能な研究計画を作成できる。(D-5)
3. 遵守すべき法規、指針を十分に理解することができる。(D-1)
4. 立案した研究計画に則り、研究を進めることができる。(D-5)
5. データ収集および分析は、信頼性・妥当性を確保することができる。(D-5)
6. 結果に基づき客観的な考察ができる。(D-5)
7. 規程を遵守してポスターを作成することができる。(D-5)
8. わかりやすいポスター発表を工夫することができる。(D-5)
9. 抄録の意図を理解し、必要な内容を適切にまとめることができる。(D-5)
10. 抄録は作成規程を遵守して作成し、指定した通りに提出できる。(D-5)
11. 論文は作成規程を遵守して作成し、指定した通りに提出できる。(D-5)
12. 文献引用は、倫理的配慮を十分に行い、適切な方法でできる。(D-1)
13. 看護研究の全てのプロセスにおいて、適切な倫理的配慮をすることができる。(D-1)
14. 看護研究の全てのプロセスにおいて、謙虚かつ主体的な姿勢で取り組むことができる。(D-5)

3. 授業の進め方

担当指導教員のもとで個別指導を受ける。

4. 授業計画（演習）

前期・後期各30時間を指導教員と相談し、計画する。詳細は別途定める履修ガイドの通り。

5. 成績評価の方法・基準

成績評価は、「2.学修の到達目標」に示した評価観点ごとに、別途定める履修ガイドの評価基準に則り、総合的に評価する。尚、ルーブリック評価に関する詳細は、第1回講義内で、別途、説明する。

6. テキスト・参考文献

指導教員が随時紹介する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

研究理論の復習を十分に行い、自己の研究課題に関する文献を準備し精読しておくこと。

8. 受講上の留意事項

学生自ら指導教員と連絡をとり、計画的かつ主体的に取り組むこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

担当指導教員のもとで個別指導を受ける。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合卒業不可となる。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

医療機関および行政機関における看護師・保健師・助産師としての実務経験を活かして、研究指導を行う。